

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	水道課	室・部・局	基盤整備部	予算事業コード
-----	-----	-------	-------	---------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	配水管布設等自費工事補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市配水管布設助成金交付要綱	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先					個人住宅において、水道を新たに使用するため配水管を自費で布設した居住者	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
							(5)個人に対する補助金・負担金
							(6)その他
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	市民				に対して	
	手段	配水管を自費で布設した費用の一部補助				を行うことで	
	受益者	個人住宅において、水道を新たに使用するため配水管を自費で布設した居住者				が(を)	
	意図	配水管布設費用の負担を軽減される				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成 28 年度			
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ( )		
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	324	276	627	1,000	○単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	無し。但し、令和6年4月1日施行により、単価の見直しを行っている。 ※完成検査合格日を基準とし、合格日が3月31日以前であれば従前単価、4月1日以降であれば新単価をそれぞれ適用する。					
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助の割合		%	○決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助することが適当か	適切	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	適当である
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している(申請時関係書類)	適正である
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	個人における配水管布設費用の負担が軽減されることから、有効であると考えている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1現状のまま継続	○2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	申請期間の設定(現状完成検査の日から2年以内) ※物価高騰等による工事費増に伴い自己負担も増となることから、令和5年度に単価の見直しを行った(令和6年4月1日施行)。		